

2017年度 事業報告書

2017年7月1日から2018年6月30日まで

特定非営利活動法人 獣医系大学間獣医学教育支援機構

1 事業の成果

2018年2-3月には7大学（東京農工大、岩手大、酪農学園大、鳥取大、岐阜大、大阪府大、宮崎大）が、5-6月には5大学（北里大、日本大、東京大、北海道大、帯広畜産大）が共用試験（Computer Based Testing: CBTとObjective Structured Clinical Examination: OSCE）を実施した。6月には山口大と鹿児島大がCBTを実施した。新しいCBT問題精選システムの開発及びこれを用いてCBT問題の作成と精選を行っている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額 (千円) |
|-------------------------------|---------------------------------------|-----------------|----------------------|--------------------|-----------------------|----------------|
| 1. 共用試験の実施及び評価に関する事業 | 12獣医大学が、共用試験（CBTとOSCE）を実施。2大学がCBTを実施。 | 2018年2月～6月 | 各獣医大学 | 獣医大学教員約120名 | 獣医大学学生約720名 | 12,300千円 |
| 2. 共用試験の問題、課題及び成績等の管理に関する事業 | CBT問題精選システム開発とCBT問題を作成・精選する | 2018年1月～6月 | 全獣医大学及びイー・コミュニケーションズ | 約150名 | 獣医大学学生約6000名 | 2,500千円 |
| 3. 共用試験の改善を図るための研究及び研修に関する事業 | 共用試験実施要領の作成 | 2018年4月～6月 | 機構事務局 | 機構2名 獣医大学教員約10名 | 獣医大学教員約700名及び学生約6000名 | 1,000千円 |
| 4. 獣医教育の内容と評価の発展充実を図るための事業 | | | | | | |
| 5. 獣医系の大学等における上記事項の連絡調整に関する事業 | 共用試験実施に伴う会議の開催 | 2017年9月、2018年3月 | 機構事務局、東京大学 | 獣医大学教員約100名 | 獣医大学教員約700名及び学生約6000名 | 1,000千円 |

(2) その他の事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 事業費の金額 (千円) |
|-----|------|------|------|--------|----------------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |